

令和6年10月15日開催「笑面の明日を市長と語る会」における未回答事項

No.	市民の意見	市長の回答	所管部局室	所管部局室の回答
1	・第四中学校の近所に住んでいるが、四中の前の道（東西）がたいへん危険である。 ・通学路になっており、対面通行で自転車の往来も多い。特に朝の7時半から9時ごろや、夕方は事故がない方がおかしいような状態である。 ・一直線の道であるため、スピードが出る。スピードが出ないような構造にするなど検討できないか。 ・歴代の市長にもお願いしたことがあるが、改めてお願いしたい。事故が起こる前に考えていただきたいと思います。	・四中の道はちょっと調べさせてください。早速調べます。	みどりまちづくり部 道路管理室	当該路線は幅員が広くないため、車が離合する際は車同士が譲り合うことで減速されています。一方で、交通量が少ない時にスピードの減速を促す対策が必要と考えています。 従前より市は、ドライバーへ速度抑制を促すため、「減速マーク」や「横断者注意」といった区画線設置などの安全対策を積み重ねてきました。 今回のご意見を受けて、市は改めて、通勤・通学者のピークである平日朝7時30分から8時15分頃の間、の現地調査を行いました。歩行者、車、バイク及び自転車の通行量や実態を確認し、電柱巻き「スピード落とせ」1箇所を、11月6日に追加設置するとともに、歩行者がより安全に通行できるよう道路際の除草も行ったところです。 また、今後、第四中学校から東に進んで、直線区間からカーブにさしかかる十字の交差点において、カラー化を行う予定です。これは、交差点であることを視覚的に強調することで、通行するドライバーへの注意喚起や減速を促す効果が見込める対策です。 市は今後も引き続き交通実態の把握に努め、必要な安全対策を積み重ねていきます。
2	・中央図書館の近くに住んでいるが、図書館の周りの道路は狭い割に、オートバイやダンブカーが走行する。信号がないため、抜け道になっている。 ・子どもの通学など、非常に危ない状態であるため、もう少し警察と相談しながら規制を強め、治安悪化を防いでいただきたい。 ・夜中でもバイクの追いかけをしてる騒音とかが聞こえて、非常に嫌悪感がある。	・生活道路ですよ、という看板の設置だけでは足りないよ、ということですね。 ・四中の件とあわせて、これもちょっと考えます。	総務部 市民安全政策室 みどりまちづくり部 道路管理室	【市民安全政策室】 車やバイクの騒音など迷惑行為、スピード超過の車両が走っているなどの危険行為については、その都度、警察に取り締まりなどの申し入れを行って参りました。今回のご意見につきましても、警察に強く取り締まりをしていただけるよう要望して参ります。市としても迷惑行為などがなくなる手法を警察と連携しながら研究していきます。 【道路管理室答】 ・治安悪化防止にむけて、本意見については警察と共有させていただきます。
3	・市営駐車場について。障害者の減免割引を受けようとする、インターフォンを通じて係員とやりとりしなければならないが、そのことが十分周知されていない。 ・ホームページなどで周知し、情報を広めてほしい。	・インターホンで対応しないといけないというのをホームページに載せるという件は、すぐやります。ごめんなさい、ご迷惑おかけして。これはやります。	地域創造部 交通政策室	各市立駐車場のホームページの記載内容について、インターホンでの対応など一時利用料金の障害者減免の手続きの詳細がわかるよう修正しました。また、市立駐輪場についても同様の対応を行いました。
4	・小中学校の英語教育について。授業を主導してるのは日本人の教員で、日本語で授業を進めている。ネイティブの教員は教室内を歩き回り、ちょこちょこ子どもに話し掛けたりするだけと聞いた。 ・予算もかなりかけていると思うが、何の役にも立っておらず本当にもったいない。生きた言語を教えてあげて欲しい。 ・スカイプを繋げて、現地のかたがたと交流しながら学ぶ機会などつくれないうか。	・ALTについては、ちょっと現場を見に行きます。	子ども未来創造局 学校教育室	小中学校の英語の授業は、チームティーチングを実施しており、複数のALTが外国語指導助手としての強みを生かしています。 本市では、ALTをより積極的に活用するために、ALTの英語を聞き取る、ALTと1対1で会話をするなど、ALTがいるからこそできることをする時間を授業に多く取り入れています。授業中の英語のインプットとアウトプットの機会は十分に確保されています。 また、ニュージーランドのハット市の小学校とZoomによる交流を実施している学校もあり、さらなる交流方法について検討しています。
5	・ここ数年、日本人は死亡者が多く、2019年厚生労働省のデータだが2019年を基準にしたときに、2020年から23年の4年間で43万人のかたが、多く亡くなっている。箕面市でも、やはり2021年ぐらいから亡くなるかたが多くなっている。 ・厚生労働省では、高齢化が原因と言っているが、高齢化の増加率と死亡者の増加率が合わない。ということは、他に何か要因があるのではないか。 ・箕面もそれを踏まえて、その亡くなるかたが多くなった原因の調査と対策をお願いしたい。	・私も把握できていなかったもので、それはなぜかというところ、調べてはどこまでわかるのかって話あるんですが、ちょっと調べさせていただきます。	健康福祉部 高齢福祉室	令和3年（2021年）以降の本市の死亡者数は、令和元年（2019年）に比べて増加していますが、年齢別の内訳では、79歳未満は大きく変化しておらず、80歳以上の死亡者数の増加が全体の増加に影響しています。 本市の年齢別原因別死亡者数は把握する方法がなく不明ですが、令和5年（2023年）の国の人口動態統計では、高齢者の死亡の主な要因として、がんや心疾患、脳血管疾患等が挙げられています。 また、本市で令和4年度（2022年度）の一定期間に、新規に要支援・要介護認定を受けたかたの主な原因疾患としては、認知症、骨関節疾患、がんとなっています。 こうしたことから本市では、がん検診や特定健診による早期発見・早期治療を進めるほか、介護予防や認知症予防、生活習慣病の発症予防・重度化予防を目的とした健康教室などを開催しており、引き続き健康寿命の延伸に取り組んでまいります。
6	・居宅介護で、障害者の支援で問題があると感じている。事業所に対しても、利用者に対しても優しくない正直思っている。近隣市と比べても、必要な支援を必要な時間数受けられないという声も多く聞く。 ・個人的にも、他市と比較して優しくない、というところが数点見受けられるように思う。障害をお持ちのかたが、箕面市を居住地として選ぶかという、選ばないだろう。 ・豊中市とか池田市、吹田市とか周りの、市長と関わることもあると思う。足並み全て揃えるのは難しいであろうが、基準を見直していただき、障害児、障害者がいても生活しやすいまちになることを望む。	・他市と比べて居住介護の点で優しくない、必要な時間を受けられてないという状況があるのは、私自身知識が足りていなかったもので、早急に調べさせていただきます。 ・障害のあるかたへの支援は、すごく打算的なお話をすると、数が限られるので財源的にもそんな大きいボリュームではないため、なんとか助けたいという思いは持っています。	健康福祉部 障害福祉室	居宅介護をはじめとする障害福祉サービスの支給決定については、障害者総合支援法に基づき、各市町村が決定しています。本市においても必要に応じ、近隣市の支給決定基準等を確認していますが、本市の支給決定が特に厳しいとは認識していません。 ご本人の障害支援区分や、相談支援事業所から提出されたサービス等利用計画案のほか、家族等介護者の状況、サービスの利用目的など、お一人おひとりの状況を丁寧に聞き取りを行い、申請されたサービスの内容及び量の必要性を確認の上、支給決定を行っています。 今後も適宜、近隣市の状況確認等を行い、見直し等が必要な場合は、その検討を行っていきます。